



日動労千葉

国鉄千葉動力車労働組合

〒260 千葉市中央区要町2番8号(動力車会館)
電話 (鉄電) 千葉 2935・2936 番
(公) 043 (222) 7207 番

94.8.16 No. 4046

830

貨物動乗勤 裏切り妥結許すな 新小岩 佐倉

裏切り妥結許すな

JR貨物で、現在、動乗勤改悪攻撃をめぐる攻防戦が大きな焦点を迎えている。JR貨物当局は、八月中の動乗勤改悪協定の妥結―十二・三ダイ改での導入を強行しようとしている。一方JR総連・貨物労は、当局と結託して、八月末にも協定の裏切り妥結を画策している動きにある。列車設定の少ない貨物会社での待合わせ時間カットが、東日本以上に殺人的な労働強化・長時間拘束をもたらすことになるのは明らかだ。JR貨物労・革マルの動乗勤裏切り妥結を絶対に許すな！

新たな首切攻撃

また、JR貨物当局は、この間「中長期経営計画」と称する大合理化計画を各組合に明らかにしている。この計画は、今後三年間で千三百名、六年間で二千三百名の要員削減を強行するという首切合理化攻撃である。実に、貨物労働者の四人に一人の首切りを行なおうというのである。内容としては、運転関係基地をはじめ、現業機関の全面的な統廃合を行い、貨物輸送体系の

JR再編の開始

しかし、この攻撃は、単に貨物のみの大合理化攻撃ではない。これは、貨物のみならず、「分割・民営化体制」全体を抜本的に再編成しようとする攻撃が始まったということだ。貨物会社は、分割・民営化政策の矛盾の集中心であるがゆえに、当面、貨物輸送体系の再編というかたちで計画が明らかにされているが、これは、明らかに旅客も含めた、「分割・民営化体制」全体の再編を射程に入れた攻撃である。

十年後の見直し

この背景にあるのは、法律上定められた「分割・民営化十年後の総括評価(見直し)」という問題である。累積債務問題やJR貨物・三島会社の経営危機をはじめ、分割・民営化政策が完全に破たんし、解決のつかない矛盾をかかえ込んでしまっている事態のなかで、「十年後」を目前にした今、分割・民営化体制を根っこから再編せざるを得なくなっているのである。

また、より大きな背景として、「鉄道政策のより反動的な転換」という問題がある。「九一年運政審答申」に示されたこの攻撃の焦点は、国内的には「有事」に即応できる鉄道輸送体系の再建ということであり、対外的には、アジアの勢力圏化をにらんだ、対外進出型の鉄道政策への転換である。しかし、「分割・民営化体制」ではこれに対応できない。つまり、情勢の急速な展開に規定されて、「抜本の見直し」攻撃が始まろうとしているのである。

「血を流す！」

すでに、JR貨物棚橋社長や畠中関東支社長は、「ストを繰り返してきた一部の人々には厳しい態度で臨む」「これまで四回もストを打たれた。血もどるような対策も考える」と口々に公言し、業界紙では「千葉夕・越中島

の売却」までが取り沙汰されている。一方、JR貨物労城石は、この「中長期計画」という大合理化攻撃に対し、「赤字を出した現実を避けて通ることはできない」「責任組合として知恵をだす」などと主張して、あらかじめ全面協力を申し出ている。

全力で闘いへ！

われわれは、この大合理化攻撃と全力をあげて対決しなければならぬ。とくに、貨物を焦点としてかけられている攻撃を全体の課題として認識し、動乗勤改悪阻止、「中長期計画」合理化粉碎、十二・三ダイ改阻止に向けてストライキを含む組織をあげた闘いの体制を早急につくりあげなければならぬ。八・三〇の総決起集会は、この闘いの第一波闘争である。全力で、各支部から新小岩・佐倉に結集しよう！

貨物動乗勤改悪阻止、大合理化―基地統廃合攻撃粉碎！

「12・3ダイ改」阻止！

8・30動労千葉総決起集会

★ 新小岩支部へ！

新小岩／津田沼／幕張／
京葉／総武／木更津／
館山／勝浦／いすみ

★ 佐倉支部へ！

佐倉／千葉転／銚子／
成田

● 全力で！ 11時30分集合！